



音楽を使った復興支援のかたち

震災4ヶ月後、それぞれの取り組み

東日本大震災で失われたものはあまりに大きく、私たちは緩めることなく継続的な支援の輪を広げなければならぬ。時が経つほどに、音楽が再びかつてと同じように、いや、それ以上に必要とされる時期がくるだろう。ピティナ会員による、音楽を使った復興支援の形を紹介したい。

(取材：文・倉持欣幸)

東日本大震災被災地復興支援
被災地へピアノをとどける会
www.piano-donation.org

このたびの東日本大震災による被災地への音楽復興支援を目的に、「被災地へピアノをとどける会」が設立されました。「義援金」のご寄付と「ピアノ」のご寄贈を広く集め、東日本大震災の被災地へピアノをおとどけしています。皆様のお力添えを心からお願い申し上げます。

～ 支援募集 ～

被災地へピアノをとどける会では、現在下記の3つのご支援を募集しております。ご支援いただきました皆様のご芳名は、当会ホームページにてご連絡させていただきます。

寄付金の支援募集

「被災地へピアノをとどける会」では、被災地へピアノをとどけるためのピアノの購入費・運搬料として「義援金」のご寄付を募集しております。お振込みは、下記の振替口座または銀行振込にてお願いいたします。

＜振替口座＞
口座番号 00280-5-110142 加入者名 被災地へピアノをとどける会

＜銀行振込＞
ゆうちょ銀行 二宮支店 口座 No.0110142 口座名義 被災地へピアノをとどける会
三井住友銀行 仙台支店 口座 No.1753200 口座名義 被災地へピアノをとどける会
七十七銀行 盛岡支店 口座 No.5477701 口座名義 被災地へピアノをとどける会 振替用 口座振替宛手

ピアノ寄贈の支援募集

「被災地へピアノをとどける会」では、被災地へおとどけるピアノとして、所有されているピアノのご寄贈を募集しております。当会ホームページの「楽器フォーラム」より、お手紙をお送りください。楽器のお取り扱いについてはご連絡ください。

チャリティーイベントの支援募集

「被災地へピアノをとどける会」上、義援金のご寄付だけでなく、ご自身のチャリティーイベントも募集しています。当会ホームページの「楽器フォーラム」より、お手紙をお送りください。楽器のお取り扱いについてはご連絡ください。

※本会について
財団法人、非営利、非営利の目的を以て設立された公益法人です。当会は、被災地復興支援を目的として活動しています。当会は、被災地復興支援を目的として活動しています。当会は、被災地復興支援を目的として活動しています。

※詳細について
当会ホームページをご覧ください。http://www.piano-donation.org/



「被災地へピアノをとどける会」は、ピアノの購入費・運搬費の寄付と、ピアノの寄贈を呼び掛けている。実行委員長は庄司美知子先生。

支援の心を、
音楽のために届けたい

東日本大震災の直後より、「何か自分ができることはないだろうか」と、ピティナ関係者からの義援金・支援金の申し出が続いている。

ピティナでは、会員からチャリティーコンサート立案の動きが出てきたことを受けて、東音ホールを主催者に無料貸し出しすることを決定。4月13日から5月22日まで、14主催者によるコンサートが開催された。集まったお金は、日

本赤十字社、あしなが育英会などの支援団体に寄付された。



7月5日(火)に東音ホールで開催されたチャリティーコンサート(出演は菅野潤・大伏啓太・庄司美知子、3人の東北出身のピアニスト)。このコンサートの入場料収入は、すべて「被災地へピアノをとどける会」に寄付される。

しかし、こうしたお金を、「音楽のために使ってほしい」という要望は高まる一方だった。その声に応える基金が、「被災地へピアノをとどける会」および「日本クラシック音楽事業協会」により設立された。そ

れぞれ、「楽器寄贈」「演奏派遣」という側面から、音楽を通じての復興の一助とすることを目的とする。

『被災地へピアノをとどける会』

(ホームページ <http://www.piano-donation.org/>)は6月9日に発足した。発起人の一人であり、実行委員長であるのが庄司美知子先生だ。4月30日に南三陸町で復興支援コンサートを行った庄司先生は、現地の惨状に打たれ、ピアノが失われた場所に、再び取り戻す活動をしたい、と強く感じたという。

各方面の演奏家に協力を呼び掛けたところ、熱い賛同が巻き起こり、世界各国からも支援の声が届いた。「慌てず、じっくりと資金を蓄えてから、幼稚園、保育所などの教育施設、公共性の高い音楽施設を優先して、ピアノの寄贈を計画していきます」。5年、10年という単位で、じっくり支援策に取り組んでいきたいとのことである。

もうひとつの『心の音楽復興基金』は、音楽家が訪問する際の、旅費交通費等の経費を支出する。すでに多くの音楽家が現地での慰問活動をおこなっており、この基金

によって、災害から1年間のサポートを行うことになっている(ホームページ <http://www.classic.or.jp/donation/>)。

支援の心を、

「コンサート」として届けた

少しでも心の安らぎになるように、まず現地に足を運び、自分のできる音楽を届けたい。そう考えるピアニストたちと、現地のステーション代表者の想いが一つになって、宮城・福島でのコンサート企画が始まっている。

5月21日には、いわき市内での避難所で伊賀あゆみさん・山口雅敏さん夫妻のコンサート、6月8



上) 5月21日(土)いわき市内での避難所にて、伊賀あゆみさん・山口雅敏さん夫妻のコンサート。
下) 6月8日(水)仙台市内3カ所で佐藤展子さんと、永井公美子さんによるコンサート。



7月8日(金)いわき市立久之浜第一小学校の皆さんのためのコンサート。ピアニストは樋口あゆ子さん。いわきステーションの細淵裕子先生、田子千鶴先生がサポート。

ただいた。

最も新しいところでは7月8日、いわき市立久之浜第一小学校のための学校コンサートが実現。ピアニストの樋口あゆ子さんを招き、「ヨーロッパの地図」をテーマに、クイズや連弾に巻き込んで、45分のコンサートが行われた。

同小学校は、学区内からの避難を余儀なくされた児童たちが、同じいわき市内・中央台北小学校の一部を「間借り」する形での学校生活で、この日の会場も中央台北小学校の体育館だ。樋口さんのトークや問いかけに、「元気に応答し、はしゃぐ190人の子供たち。

七夕の翌日となったこの日は、校舎の廊下に子供たちの願いが短冊として飾られていた。願いごとの内容は、いつもと少し様子が異なっているという。つまり、個人個人の夢ではなく、家族のこと、町のことを心配し、祈る気持ちが集まったのだ。

コンサートの締めくくりは、樋口さんの伴奏による校歌の合唱。力強く響き渡る歌声は、子供たちの町の人の祈る気持ちそのものだ。